



伏木富山港 新湊地区国際物流ターミナル整備事業

既存護岸を活用し船の渋滞を解消

現在 now

将来 future

インフラ



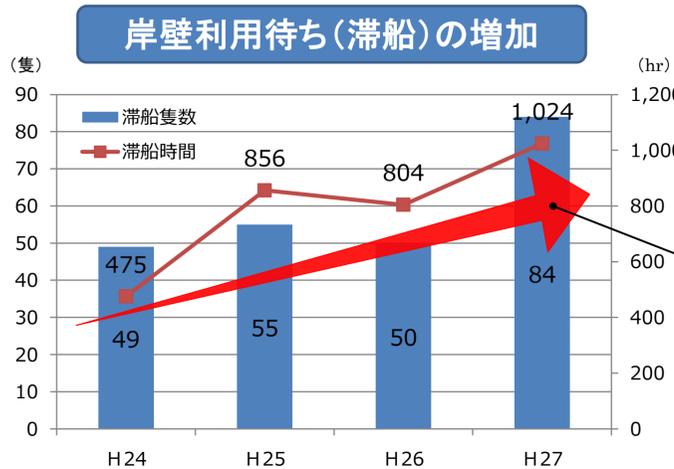
既存護岸
を活用し
岸壁延伸

大型船2隻
同時荷役へ



平成30年度 完成予定

地域



岸壁延伸・ふ頭用地拡張により

輸送コスト
低減

コンテナ取扱能力
向上

- ・滞船コスト削減
- ・輸送時間短縮
- ・定時性向上

- ・地震災害時のバックアップ輸送体制確保に寄与

滞船コスト削減効果は
年間1億2千万円

輸送時間短縮効果は
年間5千万円

安定した企業活動を確保

伏木富山港に寄港するコンテナ船は近年大型化が進み、岸壁の延長が不足し、船の渋滞(滞船)が発生

既存護岸を活用して岸壁を延伸することで、コンテナ船2隻が同時に接岸して荷役することが可能となり、滞船が解消

これにより輸送時間が短縮され、また物流の定時性が向上し、港を利用する製造業等の安定した企業活動を確保



MAP